



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻
第4号) 編集後記・編集委員・購読
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻第4号) 編集後記・編集委員・購読要
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1978, 24(4): 348-348

ISSUE DATE:

1978-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122194>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要

第 24 巻 第 4 号

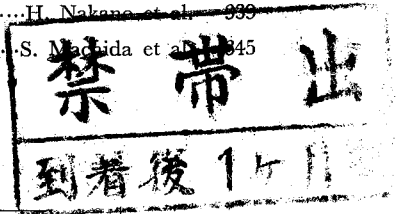
1978 年



前立腺癌に関する研究 I. 抗男性ホルモン療法の効果と予後 に関する検討.....	碓井 画	263
前立腺癌に関する研究 II. 骨髓血中酸性フォスファターゼ活 性値について.....	碓井 画	281
細胞性免疫能よりみた膀胱癌の浸潤度について.....	山本 憲男	295
腎動静脈瘻の保存的治療について.....	並木 幹夫・ほか	307
腹部圧迫法による IVP において腎盂外溢流をきたしたと考 えられる1例.....	森田 勝・ほか	319
凍結治療をおこなった陰茎血管腫の1例.....	山崎 章・ほか	325
男子尿道狭窄の Otis 尿道切開刀による治療について.....	河村 信夫	333
下部尿路手術後の open drainage system における感染予防の検討.....	中野 博・ほか	339
尿路感染症における Cefoxitin の臨床的検討.....	町田 修三・ほか	345

CONTENTS

Studies on Carcinoma of the Prostate. I. Investigations on the Effects of Antiandrogenic Treatments and Survival of the Patients.....	T. Usui	263
Studies on Carcinoma of the Prostate. II. Investigations on Acid Phosphatase Activity in the Bone Marrow Blood	T. Usui	281
Relationship between the Tumor Stage and Cellular Immunocompetence in the Patients with Bladder Carcinoma	N. Yamamoto	295
Conservative Treatment of the Renal Arteriovenous Fistula Activity....	M. Namiki et al.	307
Peripelvic Extravasation occurring on Intravenous Urography with Abdominal Compression: Report of A Case	M. Morita et al.	319
Penile Hemangioma treated by Cryosurgery: Report of A Case	S. Yamasaki et al.	325
Treatment of Stricture of the Male Urethra with Otis' Urethrotome	N. Kawamura	333
Investigation on Prevention of Infection in the Open Drainage System after Surgery on the Lower Urinary Tract	H. Nakano et al.	339
Clinical Studies of Cefoxitin in Urinary Tract Infections	S. Machida et al.	345



編集後記

基礎石に1919と刻まれている。この年に建てられたのであろう。実に60年が経っている。11年前に私が去ったときと研究室の内景はあまり変わらないが、さすがに壁が崩れ落ち一部では腐屋の感もある。今は結核胸部疾患研究所が建っている元の泌尿器科学教室から往時の小児科学教室に移ってきたのかいつだったか定かには記憶にない。だから酒徳教授がここで本誌の編集に没頭していたのは知っているが、仁平教授が仕事をしていたかどうかは憶えていない。

山口にいて11年、壁が崩れ落ち、新しい総合病棟が建ったのも知らないように、京都大学の出来事にも友吉教授の本誌の編集発行に対する苦闘にも第三者的立場にあった。それが今、私がここにて外から見て何となく廃刊の危惧をいだかせた本誌の編集に携わることになった。そうして本誌に寄せる吉田教授の意欲のなみなみならぬものを知った。私としても大いに努力するつもりであるが、雑誌の編集ということは全く初めての仕事である。不慣れのため投稿者の皆さんにも購読者の皆さんにも大変御迷惑をかけることと思う。ただ10月号を10月末には出したい。そのつもりで6月号に予定している原稿の大部分はもう校正を済ませている。印刷所も努力を約束してくれているのでうしばらくの間の御猶予と御寛赦をお願いします。(T. K.)

編集委員

石 神 裏 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 菅 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。ただし合併号を出すことがあります。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限りです。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投稿内規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名: 書名, 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第24巻 第4号	1978年4月25日 印刷	1978年4月30日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500円(送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
〒606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話(075)751-3327(直通)
	印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入
